

環境省関東地方環境事務所
請負業務

平成27年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域
子どもパークレンジャー業務
報告書

平成28年3月

特定非営利活動法人 ホールアース研究所

報告書の概要

1. 業務の目的

子どもパークレンジャーは、小中学生を対象に、国立公園などをフィールドにして、環境省の自然保護官（レンジャー）の業務体験や自然体験活動、学習活動などを行う事業で、これらの活動を通して、子どもたちに自然保護や環境保全について考える場を提供し、理解を深める活動である。箱根地域には大涌谷（箱根山）があり、最近の火山活動の活発化に伴い、火山活動及びその防災について意識が高まっている。本業務では、火山に関する自然情報及び火山活動に伴う災害教育を実施し、地域の子どもたちに火山による恩恵と火山による災害及び防災について意識を普及し、理解を深めることを目的とする。

2. 業務の概要

本業務では、子どもパークレンジャーのプログラムを検討するに当たり、専門的な見地から助言を得るため、ワークショップ（以下、検討会）を3回実施した。検討会ではプログラムについての企画検討を行なった。参加者募集の実施及び受付、広報活動を実施し、プログラムを2回実施した。

3. 受託者名

特定非営利法人 ホールアース研究所

4. 報告書の構成

（1）プログラムの検討

検討会をプログラム実施前に1回、第1回プログラム実施直後に1回、第2回プログラム実施後に1回の、合計3回実施した。子どもパークレンジャー事業、箱根地域での火山学習及び防災教育、プログラム案、参加者募集について検討した。

（2）参加者募集の実施及び受付、広報活動の実施

子どもパークレンジャープログラムの参加者を募集するため、チラシを作成して印刷し、主に神奈川県西部地域を中心に、静岡県東部地域も含めて配布した。また、受託者ホームページにチラシデータを掲載し、受託者で応募を受け付けた。

（3）プログラムの実施

11月に1回、12月に1回、計2回プログラムを実施した。各回のプログラム実施概要及び参加者の属性、今後の課題についてまとめた。

（4）検討会配布資料

検討会で配布した次第、検討員名簿、検討資料を掲載した。

5. 公開・非公開

報告書（公開）

目 次

はじめに	4
1. プログラムの検討	
1) ワークショップの開催	5
(1) 第1回ワークショップ	5
(2) 第2回ワークショップ	7
(3) 第3回ワークショップ	9
2) プログラムの概要	11
2. 参加者募集の実施及び受付、広報活動の実施	
1) 募集および受付	13
2) 広報先一覧	15
3) 課題	17
3. プログラムの実施	
1) 実施概要	18
(1) 第1回	18
(2) 第2回	19
2) 今後の課題	21
参考資料	
1) 検討会配布資料	22

はじめに

子どもパークレンジャーは、小中学生を対象に、国立公園などをフィールドにして、環境省の自然保護官（レンジャー）の業務体験や自然体験活動、学習活動などを行う事業で、これらの活動を通して、子どもたちに自然保護や環境保全について考える場を提供し、理解を深める活動である。

箱根地域には大涌谷（箱根山）があり、最近の火山活動の活発化に伴い、火山活動及びその防災について意識が高まっている。そこで、本業務では、火山に関する自然情報及び火山活動に伴う災害教育を実施し、地域の子どもたちに火山による恩恵と火山による災害及び防災について意識を普及し、理解を深めることを目的とする。

1. プログラムの検討

1) ワークショップの開催

子どもパークレンジャーのプログラムを検討するに当たり、専門的な見地から助言を得るため、ワークショップ（以下、検討会）を3回実施した。実施時期は、プログラム実施前に1回、第1回プログラム実施直後に1回、第2回プログラム実施後に1回の、合計3回実施した。各回の概要は以下の通り。

(1) 第1回ワークショップ

日時：平成27年8月31日（月）10:00-12:00

場所：箱根町役場分庁舎4階第7会議室

出席者：下記の通り

【検討員】		※五十音順
所属	役職名	氏名
神奈川県公園協会	自然公園担当課長	青木 雄司氏
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏
箱根町教育委員会学校教育課	指導主事	浅川 能之氏
箱根町教育委員会	教育次長 兼 生涯学習課長	大和田 公一氏
自然公園財団 箱根支部	主任	須田 淳氏
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年 一剛氏
箱根ジオミュージアム	学芸員	山口 珠美氏
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏
【事務局】		
環境省 箱根自然環境事務所	所長	高橋 啓介
〃	自然保護官	木暮 朋子
〃	自然保護官補佐	後藤 香菜
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介
〃	専門職員	津田 和英

議事概要：

1. 子どもパークレンジャー事業について

環境省担当者より、子どもパークレンジャー事業の概要説明と、これまでの経緯・実績、本事業の目的と内容について説明をした。箱根地域では、これまで環境省職員がプログラムを企画し、パークボランティアが実施協力していた。対象者は小学4-6年生を対象として実施していたことが報告された。

2. 箱根地域での火山学習・防災教育について

プログラムを検討する前に、箱根地域で現在取り組まれている火山学習・防災教育について把握するため、以下の点について検討員で議論し、情報共有をした。

1) 学校で行われている火山に関する学習について

小学校では理科で、5年生で川の流れによる土地の浸食、6年生で火山活動による堆積も含めた地層について学んでいる。社会では、地図を学ぶ際に、全国の火山について学んでいる。

2) 箱根地域で必要な火山学習プログラム・防災プログラムについて

生涯学習と学校教育の連携で、箱根中学校で火山防災教室が開催されている。ジオミュージアムの出張授業も箱根中学校では年2回行われている。

3) 他地域での火山防災教育の事例について

地震学会・火山学会・地質学会の3つ合同で「地震火山子どもスクール」というものが行われている。平成27年度は伊那市で、1泊2日で開催された。専門家が講師を務めるが、集客に苦労している。

3. プログラム案について

事務局より、今回のプログラムは小学5年生以上とし、定員は箱根ビジターセンターの収容人数を考慮して20名とすること、日程は11月と12月にそれぞれ1回の計2回実施を想定している旨、資料に基づき説明がされた。具体的な案としてA案からD案までの4案が提示され、それぞれの特色についても説明された。

検討員からは現地集合となると集客が難しくなるため、小田原駅からの路線バス利用、または親も一緒に来てもらって別のプログラムを受けてもらうかどうか、という提案があった他、タイトルについても参加したいと思われるタイトルにすべきというコメントもあった。

4. 参加者募集について

事務局より平成26年度の子どもパークレンジャー事業での広報先一覧が提示され、箱根町を含む神奈川県内の市町、および静岡県東部の市町の広報課に対して情報提

供していた他、箱根・小田原の小学校および神奈川県西部地域の教育委員会へのチラシ送付を行っていたことなどが説明された。

検討員より、学校行事や地域行事との重複を避けること、平日に実施する場合は学校との密な連携が欠かせないこと、といったコメントが出された。

(2) 第2回ワークショップ

日時：平成27年11月15日（日）15:40-16:40

場所：箱根ビジターセンター

出席者：下記の通り

【検討員】		※五十音順
所属	役職名	氏名
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏
自然公園財団 箱根支部	主任	須田 淳氏
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏(代理:斎藤氏)
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年 一剛氏
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏
【事務局】		
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官	木暮 朋子
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官補佐	後藤 香菜
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介
NPO法人ホールアース研究所	専門職員	津田 和英

議事概要：

第1回目子どもパークレンジャー実施終了直後に行われた検討会で、実施を踏まえての改善点、第2回に向けての課題について意見交換を行った。

1. プログラムの検討について

屋外に出る予定の直前まで小雨が降っており、晴天プログラムで行うか、荒天時プログラムで行うかの判断をギリギリまで待った結果、晴天プログラムで無事行うことができ良かったという声が多く聞かれた。ただし、検討員からは、①色々試

すという点で良かったが、プログラムが盛りだくさんであった、②想定していた 20 名で実施するには時間的に困難であろう、③タイトルが「火山のナズを探れ」とあるが、小学校高学年対象なら再考すべきでは、といったコメントが出された。

この他に、子どもがまとめ易いようにワークシートを用意したほうが良い、持ち物の指示を予めしっかり伝えておく、もう少し歩く距離を短くしたほうがよい、といった具体的な修正提案も出され、2 回目の実施に向けて事務局で再度検討することとした。

2. 広報の検討について

事務局より、これまでの広報活動実績と第 2 回目の募集状況について報告があり、それを受けて検討員より今後の広報について意見交換を行った。

事務局からは、箱根町内の対象となる小中学生にはチラシが配布済みであること、町内回覧にも配布済みであるが、例年に比べて反応が少ないと報告された。これについて、検討員からはカギとなるような先生に直接連絡を取って児童・生徒の参加を呼び掛ける、検討員からも広報ができるよう、メールに転記できる広報文を送るといった提案がされた。

(3) 第3回ワークショップ

日時：平成28年2月3日（水）13:30～15:30

場所：箱根町役場分庁舎4階第1会議室

出席者：下記の通り

【検討員】		※五十音順
所属	役職名	氏名
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏(代理:片野氏)
箱根町教育委員会生涯学習課	指導専任教諭	石井 ちかり氏
箱根町教育委員会生涯学習課	主事	竹村 洋一氏
自然公園財団 箱根支部	主任	加藤 和紀氏
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年一剛氏
箱根ジオミュージアム	学芸員	山口 珠美氏
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏
【事務局】		
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官	木暮 朋子
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官補佐	後藤 香菜
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介
NPO法人ホールアース研究所	専門職員	津田 和英

議事概要：

2回行った子どもパークレンジャープログラムの実施を踏まえ、成果と課題の共有と来年度に向けた課題について意見交換を行った。さらに、防災教育プログラムに活かすためのプログラム集についても検討員より意見をいただいた。

1. 子どもパークレンジャープログラムの報告について

事務局より、参加者（子ども・保護者）からのアンケート結果について報告を行った。子どもたちからは学んだことベスト3に「火山」というキーワードが目立ち、事業のねらいである火山について学んでもらうということは達成できたと推察された。検討員からは「実験を通じて火山や防災について学んでもらえたことが良かった。

た」「検討員たちがやっている仕事が面白いと子どもに言われて嬉しかった」というコメントが出た。一方、既に箱根地域では他団体が自然体験プログラムを実施しており、その中で環境省が実施する事業である意味を原点に立ち返って考えたほうがよいのでは、という意見もあった。

また、広報と集客について、広報期間を十分取るだけでなく、箱根町の生涯学習講座と連携して夏休み期間中に実施してはどうか、という意見が出された。

2. 防災教育プログラム集について

事務局よりプログラム集の項目案について説明があり、その後「箱根地域において自然教育プログラム・防災教育プログラムを実施する上での留意事項」について、検討員の属性に合わせて3つのグループに分かれてアイデア出しと意見交換を行った。出てきたアイデアは以下のとおり。

【学校教育の中で実施する上での留意事項】

- ・視覚教材（パワーポイント、DVD等）、ワークシート、参考資料一覧があるとよい。
- ・対象に合わせた汎用性と応用のヒント集があるとよい。
- ・教員に対する研修が必要。

【社会教育の中で実施する上での留意事項】

- ・フィールドでのルールを明記する（禁止事項など）。
- ・「アイスブレイク」の一覧やゲーム集があるとよい。
- ・リスクマネジメント（事故発生時のフロー図、保護者への説明等）を明記する。
- ・具体的なプログラム事例を掲載するとよい。

【専門家の見地からの留意事項】

- ・専門用語は用語集でまとめて分かりやすく解説する。
- ・学会が出している情報とリンクさせる。（テキストなどが公開されている）
- ・参考になる図書やウェブサイト、協力してくれそうな人の紹介
- ・地域（自治会）の防災訓練で応用できるとよい。
- ・プログラムの発展形や応用のヒントを載せる。

2) プログラムの概要

検討会での議論を踏まえ、今年度実施することとなった子どもパークレンジャープログラムの概要は以下の通り。

環境省子どもパークレンジャー事業

箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～

事務局・運営スタッフ：木暮氏、後藤氏（環境省）、大武氏、津田氏（ホールアース研究所）
 検討員スタッフ：萬年氏（神奈川県温泉地学研究所）、斎藤氏（箱根パークボランティア）
 ＊表中、敬称略。

★オリエンテーション

時間	内容	詳細、役割	備考
9:15	スタッフ集合打ち合わせ @ビヅターセンター	進行、分担確認、天候判断 準備	
9:45	随時受け付け	受付開始 申込書記入、名札書き 参加者集合	受付①（大武：集金、申込書） 受付②（後藤：配布物） 全体（津田）：名札
10:15	オリエンテーション	①挨拶（木暮） ②運営、諸注意（津田） スタッフ紹介 ③ビヅターとは？（国立公園紹介） ⇒JPR手帳配布 名前記入 ④参加者自己紹介 ⑤アイスブレイク 布の地図を広げて、箱根を確認。箱根ジオパークについて	進行：津田 挨拶：木暮 スタッフ紹介（全員） アイスブレイク（ホールアース）

プログラム運営

時間	内容	詳細、役割	備考
10:45	プログラム わかりやすい火山のはなし	津田がシアタールームに誘導 津田が司会 萬年氏より講義 質疑応答	神奈川県温泉地学研究所 萬年主任研究員
11:30	昼食	雨の場合はビヅターセンター内で 昼食後は館内見学	晴れの場合：津田と斎藤 打ち合わせ
12:10	ビヅターセンター外集合 出発 自然探勝路 金太郎岩 展望台	ビンゴ表配布 諸注意（危険生物） ①コーラ実験 →火砕流と軽石の説明 ②レンジャーの仕事紹介	雨の場合：溶岩染め教室 (～14:30) @ビヅターセンター 津田、木暮、後藤、斎藤

	姥子駅（トイレ休憩） 船見岩	③葉っぱジャック ④富士山 ⑤ブーさん ⑥金太郎岩 ⑦野生動物 ⑧噴気の話 ⑨お気に入り探し	大武 & 萬年は車で船見 岩へ ⇒13:45合流
14:00	船見岩出発 ビヅターセンター到着	ロープウェイ沿いに下山 トイレ休憩	
14:30	噴火実験	津田 ①噴火すると何が起こる？ ②噴石実験 part1 観察して傾向を考える ③噴石実験 part2 ブロックの家や人を置く *どんな行動をとる？ ⇒対策を考える。	晴天時：屋外、 荒天 時：屋内
15:00	ふりかえり @ビヅターセンター内 ワークシート記入 個人で発表	津田 ワークシート（ベスト3） ・楽しかったこと ・学んだこと ふりかえり、事務連絡 津田より終了挨拶	日本火山学会資料配布
15:30	終了	解散	子どもパークレンジャーとしての行動

2. 参加者募集の実施及び受付、広報活動の実施

1) 募集及び受付

子どもパークレンジャープログラムの参加者を募集するため、チラシを作成して印刷し、主に神奈川県西部地域を中心に、静岡県東部地域も含めて配布した。また、受託者である、ホールアース研究所のホームページにチラシデータを掲載すると共に、10月20日より電話・FAX・E-mailのいずれでもホールアース研究所で応募を受け付けた（配布したチラシは以下の通り）。

環境省 子どもパークレンジャー事業 JPR

箱根で大ぼうけん！

～火山のナゾを探れ～

いろんな発見でビンゴしよう！

火山学者の話を聞こう！

コーラで火山噴火を体験しよう！

火山学者・レンジャーと楽しく学ぶよ！

【日時】 ①2015年11月15日(日) 9:45～15:30 または
②2015年12月6日(日) 9:45～15:30

*申込締切り ①11月8日(日) ②11月29日(日) *①と②は同じ内容のものです

【場所】 箱根ビジターセンター及び周辺(姥子駅)
*大涌谷及び噴火規制区域には入りません

【集合】 箱根ビジターセンター

【参加費】 100円(保険代)

【対象】 小学5年生～中学3年生 20名

お申し込みは裏面より

主催:環境省 箱根自然環境事務所
運営:NPO法人ホールアース研究所
後援:箱根ジオパーク推進協議会

はこね HAKONE 箱根ジオパーク Hakone Geopark

<チラシ表面>

箱根で大ぼうけん！～ご案内～



- 内 容： 9:45 受付開始
 10:15 集合、アイスブレイクゲーム
 わかりやす〜い火山のおはなし
 11:30 昼食
 12:15 ビジターセンターから姥子駅まで自然の宝探しビンゴゲーム
 姥子駅広場より大涌谷噴気を見学&解説（火山のめぐみ）
 14:30 ビジターセンターの戻り、ふりかえり
 15:30 終了・解散（箱根ビジターセンター）

雨天の場合は、
 午後のプログラムを
 室内のものに
 代替します。

- 費 用：100円（保険代）
 持 ち 物：リュックサック（両手が自由になるもの）、昼食・飲み物、帽子、運動靴
 動きやすい服装、防寒着、筆記用具、レインウェア（傘は不可）、保険証コピー
 交 通 機 関：●箱根登山バス：小田原駅または箱根湯本駅より
 湖尻・桃源台行き バス停「白百合台」下車 徒歩2分
 ●自家用車：小田原方面から国道138号 仙石原交差点左折

お問い合わせ・お申し込み先 **【申込締切り ①11月8日(日) ②11月29日(日)】**

NPO法人ホールアース研究所（担当：津田、大武）

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165

【TEL】0544-66-0790（9:00～17:00）

【FAX】0544-67-0657 【Eメール】info@wens.gr.jp

お申し込みの際は下欄
 の必要事項をご記入の
 上、ご連絡下さい！



希 望 日	①11月15日(日) ・ ②12月6日(日)	
お 名 前	(ふりがな)	
ご 住 所	〒 市 町	性別 男・女
学 校	学校 (年生)	
ご 連 絡 先	①当日まで（詳細などをご連絡します） Eメール・FAX・TEL（いずれかに○をつけてください）	
	②当日（緊急時）連絡先 TEL〔自宅〕 〔携帯〕 携帯メール〔 〕	
事前に伝えておきたいこと などあればお書きくだ さい。	例：〇〇君と一緒に参加します。等	

<チラシ裏面>

2) 広報先一覧

前年度までの子どもパークレンジャーでの広報実績を参考に、広報活動（チラシの配布、関係機関への協力依頼、メディアへのリリース等）を行った実績は以下の通り。

- (1) チラシの配布 合計 1974 枚
箱根町（全小中学校）、小田原市内（一部小中学校）の児童・生徒への配布
箱根町、小田原市内の博物館等での配布
- (2) 行政関係広報紙への掲載依頼 合計 14 件
神奈川県内（箱根町、小田原市等）、静岡県内（御殿場市、三島市等）
- (3) 関係機関への協力依頼
箱根ジオパーク推進協議会、神奈川県・県西地域県政総合センター、
神奈川県生命の星・地球博物館、箱根ジオミュージアム
- (4) メディアへのリリース
新聞（神奈川新聞、朝日新聞、小田原記者クラブ）
- (5) インターネットホームページへの掲載依頼
箱根ビジターセンター、富士箱根伊豆国立公園、箱根ジオパーク推進協議会等

※詳細実績は次ページリスト参照。

H27子どもPR用広報先リスト

◆市町村広報紙	◆ちらし送付 配布用
●静岡県	小田原市立三の丸小学校
御殿場市秘書広報課	小田原市立大窪小学校
御殿場市教育委員会社会教育課	小田原市立早川小学校
裾野市いきいき広報室	箱根町立湯本小学校
三島市広報広聴課	箱根町立箱根の森小学校
函南町企画財政課	箱根町立仙石原小学校
小山町企画調整課広報	函嶺百合学園小中学校
●神奈川県	箱根恵明学園（小中）
湯河原町秘書広報室広報担当	小田原市立城南中学校
南足柄市広報広聴課	小田原市立城山中学校
二宮町総務部企画室広報統計班	箱根中学校
大井町町民課	小田原市立白山中学校
大磯町政策課	小田原市立国府津中学校
平塚市企画部広報・情報政策課	小田原市立鴨宮中学校
開成町町民サービス部自治活動応援課	箱根町教育委員会
箱根町広報	南足柄市教育委員会
	大井町教育委員会
◆新聞紙面	箱根ビジターセンター
神奈川新聞「iバザール」県西総局	箱根湿生花園
朝日新聞横浜総局マリオン係	生命の星・地球博物館
小田原記者クラブ	箱根ジオミュージアム
	レイクアリーナ箱根
◆地域情報誌	ふれあいの村
広報公聴室	（公財）神奈川県公園協会
	環境省関東地方事務所
◆インターネットホームページ	
箱根ビジターセンター	
富士箱根伊豆国立公園	
箱根ジオパーク推進協議会	
PLANETかながわ	
AR日記	

3) 課題

検討会での議論を踏まえ、箱根地域での子どもパークレンジャープログラムの広報ならびに参加者募集についての課題は以下の通り。

(1) 広報期間を十分にする

今回、11月実施の第1回目の広報を開始したのが10月20日以降となり、実施の1ヶ月前を切ってしまっていた。会場の箱根ビジターセンターは、子どもだけの参加がやや難しい場所であり、保護者の送迎が必要になることから、少なくとも1ヶ月以上前には告知できるように、早めに準備をすることが望ましい。

(2) 子どもが参加しやすい時期を考慮する

例年の子どもパークレンジャープログラムは、15名前後の参加があったが、今年度はいずれも10人を下回り少なかった。例年との違いは、これまで夏休みの8月に実施していたが、今年度は11月と12月という秋に実施したことが影響している可能性がある。特に夏休みは自由研究等の宿題対策として、こうしたやや専門的なプログラムを通じて普段学べないことが学べる機会となり得る。今後は夏休み期間中の実施を検討する必要があるのではないだろうか。

(3) 子どもに積極的に呼びかけていただく協力者を通じて募集する

子どもが参加するに当たり、保護者だけでなく興味関心を持った教員や周囲の大人からの働きかけも影響するという検討員からのコメントがあった。中学校の場合、科学部やそれに類する課外活動を担当している教員を通じて、告知してもらう方法も検討したほうが良い。

(4) 地元の生涯学習事業と連携する

箱根町では、社会教育事業として「箱根町自然探検隊」という取り組みを行っている。町内の小学3年生から中学3年生までを対象として行っており、今年度は町内に600枚チラシを配布して、30名ほどが登録し、全7回の活動を行っている。この中の1回に、今回行った火山防災プログラムを組み入れることで、地域への告知や参加を促すことに協力が得られるのではないだろうか。

3. プログラムの実施

1) 実施概要

第1回検討会での検討を踏まえ、11月に1回、12月に1回、計2回プログラムを実施した。実施概要は以下の通り。

【箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～ 1回目】

- ◆実施日時：平成27年11月15日（日） 9：45～15：30
- ◆実施場所：箱根ビジターセンター及び姥子駅周辺
- ◆対象学年：小学5年生～中学3年生
- ◆参加者数：3名（小学5年生1名、中学1年生2名）
- ◆実施者：萬年一剛主任研究員（神奈川県温泉地学研究所）
木暮朋子自然保護官（環境省箱根自然環境事務所）
齋藤幸蔵氏（箱根パークボランティア）
津田和英氏（ホールアース研究所）
- ◆実施内容：①オリエンテーション（津田氏、木暮氏実施）
②火山講義（萬年氏実施）
③自然宝探しビンゴゲーム（津田氏、萬年氏、木暮氏、齋藤氏実施）
④噴火実験（津田氏実施）
⑤ふりかえり（津田氏実施）
- ◆当日の様子：



< 国立公園の話（木暮氏） >



< 火山講義（萬年氏） >



< 火山調査の話（萬年氏） >



< 自然探しゲーム（齋藤氏） >



< 噴火実験（津田氏） >



< 火山噴火実験（津田氏） >

【箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～ 2回目】

- ◆実施日：平成27年12月6日（日） 9：45～15：30
- ◆実施場所：箱根ビジターセンター及び箱根町アリーナ周辺
- ◆対象学年：小学5年生～中学3年生
- ◆参加者数：8名（小学5年生：1名、小学6年生：4名、中学1年生：1名、
中学2年生：2名）
- ◆実施者：萬年一剛主任研究員（神奈川県温泉地学研究所）
山口珠美学芸員（箱根ジオミュージアム）
木暮朋子自然保護官（環境省箱根自然環境事務所）
石原和美氏（箱根パークボランティア）
津田和英氏（ホールアース研究所）
- ◆実施内容：①オリエンテーション（津田氏、木暮氏実施）
②火山講義（萬年氏実施）
③自然宝探しビンゴゲーム（津田氏、萬年氏、木暮氏、石原氏実施）
④噴火実験（津田氏、山口氏実施）
⑤ふりかえり（津田氏実施）
- ◆当日の様子：



<火山講義（萬年氏）>



<火山調査の話（萬年氏）>



<火山防災の話（津田氏）>



<火山調査の話（萬年氏）>



<火山噴火実験（津田氏）>



<ふりかえりの様子>

【参加者の属性】

第1回、第2回それぞれの参加者属性などは以下の通り。第1回目は当初6名の申し込みがあったが、直前にキャンセルがあり、結果として3名の参加となった。

2回を通しての特徴は、全体として参加者が少ないことに加え、地元箱根町からの参加が1名と少なく、神奈川県内一円から参加があった。横浜市、相模原市といった都市部からの参加者もあり、中には火山が自由研究のテーマであり、非常に高い意欲を持って参加している子どももいた。

平成27年度箱根子どもパークレンジャー事業 参加者簡略名簿

第1回目(11月15日)

番号	申込方法	性別	学年	都道府県	市区町村	交通手段
1	メール	男性	中1	神奈川県	秦野市	車
2		男性	小5			
3	電話	男性	中2	神奈川県	足柄下郡箱根町	-
4		女性	小6			
5	FAX	男性	中1	神奈川県	小田原市	車
6		男性	小5			

第2回目(12月6日)

番号	申込方法	性別	お子様の学年	都道府県	市区町村・番地	交通手段
1	メール	女性	小6	神奈川県	横浜市港南区	車
2	メール	男性	小6	神奈川県	足柄下郡箱根町	車
3	FAX	女性	小6	神奈川県	横浜市中区	車
4	電話	男性	小5	神奈川県	小田原市	車
5	メール	女性	小6	神奈川県	相模原市緑区	車
6	メール	男性	中2	神奈川県	座間市	電車・バス
7	メール	男性	中2	神奈川県	横浜市緑区	電車・バス
8	電話	男性	中1	神奈川県	小田原市	車

2) 今後の課題

前年度までの自然とのふれあいを重視していた子どもパークレンジャープログラムとは違い、今年度は火山と防災教育に焦点を当てたプログラムとした。

第1回プログラム実施直後に行われた第2回検討会、ならびに第3回検討会で出されたコメントを踏まえた今後の課題は以下の通り。

(1) プログラムの内容について

この事業に取り組むに当たっての背景として、箱根地域でおこなってきた従来の子どもパークレンジャーが自然とのふれあいを重視し、ともすれば楽しむ事を重視しがちであった。これを踏まえて、学びの部分も大切にする、焦点を絞ってプログラム作りを行う、地元での取り組みとの連携を検討する、という点を踏まえてプログラムの企画・運営を行った。

今年度は小学5年生以上、中学生も含めた子どもを対象とした。これまでの小学校低学年中心より高学年にシフトさせたが、結果として火山や防災に興味を持っている子どもが多数参加し、子どもだけでなく、実施者側も高い満足を得られる反応があった。また、箱根・小田原地域だけでなく、広く神奈川県内一円から参加者を集めることができた。来年度の方向性として、他ではあまり体験できない、専門性の高いプログラムにさらに磨きをかけるというものが1つ考えられる。

一方、高学年対象で専門性を高めると、地元箱根地域からの参加者が限定される懸念がある。地域で取り組まれている社会教育事業の一環として取り入れることを想定すると、今年度取り組んだものを低学年向けに修正する必要も考えられる。いずれにせよ、プログラム対象者を誰に設定するかによって、プログラム内容を適切に修正することが不可欠である。

(2) 事業の位置づけについて

子どもパークレンジャー事業は環境省としての事業名であるが、その名の通り、子どもがパークレンジャー（自然保護官）を体験する、理解するという側面で一般に捉えられている。これは環境省ならではの取り組みだが、一方で単に子どもにパークレンジャーの仕事を体験してもらう職業体験プログラムではない。パークレンジャーという仕事を通して、国立公園の自然とその恩恵、地域の人々の暮らしを深く理解し、時に災害を引き起こす自然のリスクにも想像を巡らせることが、子どもパークレンジャーの目的となりうる。

また、検討会を通じて箱根地域では様々な主体がそれぞれ箱根火山や防災について取り組んでいることも明らかになってきた。来年度以降、環境省として独自に取り組むべき点と、地域の主体（箱根町、箱根ジオパーク推進協議会等）と連携して取り組む点を改めて整理し、より効果的な子どもパークレンジャー事業を運営していく必要がある。

参考資料

1) 検討会配布資料

平成27年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域

子どもパークレンジャープログラム第1回検討会(ワークショップ)

日時：平成27年8月31日(月) 10:00～

場所：箱根町役場 分庁舎4階 第7会議室

議事次第

1. あいさつ

2. 出席者自己紹介(出席者名簿)

3. 議事

(1) 子どもパークレンジャー事業について(資料1)

(2) 箱根地域での火山学習・防災教育について(資料2)

(3) プログラム案について(資料3)

(4) 参加者募集について(資料4)

(5) その他

第1回検討会
資料

平成27年度 富士箱根伊豆国立公園箱根地域 子どもパークレンジャープログラム第1回検討会 出席者名簿			
【検討員】		※五十音順	
所属	役職名	氏名	出欠
神奈川県公園協会	自然公園担当課長	青木 雄司氏	出席
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏	出席
箱根町教育委員会学校教育課	指導主事	浅川 能之氏	出席
箱根町教育委員会	教育次長 兼 生涯学習課長	大和田 公一氏	出席
自然公園財団 箱根支部	主任	須田 淳氏	出席
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏	出席
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年 一剛氏	出席
箱根ジオミュージアム	学芸員	山口 珠美氏	出席
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏	出席
【事務局】			
環境省 箱根自然環境事務所	所長	高橋 啓介	出席
〃	自然保護官	木暮 朋子	出席
〃	自然保護官補佐	後藤 香菜	出席
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介	出席
〃	専門職員	津田 和英	出席

子どもパークレンジャー事業について

1. 子どもパークレンジャーとは

「子どもパークレンジャー」とは小中学生を対象に、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、生きものに対する思いやりの心など、豊かな人間性を育むことを目的として、平成11年から開始された事業です。

環境省レンジャー（自然保護官）と一緒に、国立公園などにおいて、自然観察や自然環境学習などのプログラムを体験するもので、昨年度は全国で20箇所、関東地方では箱根地域と奥多摩地区（秩父多摩甲斐国立公園）の2カ所で行っています。

2. 箱根地域の子どもパークレンジャー事業

箱根地域では平成12年から子どもパークレンジャー事業を実施してきました。ここ数年は、夏休み期間中に、小学校高学年を対象に参加者を募集し、箱根ビジターセンター周辺、大涌谷自然探勝路、仙石原湿原などで、植物、昆虫、火山などの自然観察や、ザリガニ釣りを通じた外来種問題などのプログラムを実施し、最後のまとめとして、マップや新聞を作成し、発表をおこなっています。（参考資料1、2）

3. 今年度の子どもパークレンジャー事業の目的と内容

箱根地域では、大涌谷の火山活動活発化により、火山活動や防災について意識が高まっています。そこで、今年度新たな試みとして、子どもパークレンジャー事業で、火山に関する自然情報学習、防災教育を実施し、子どもたちに火山に関する正しい知識と、火山による恩恵、災害・防災について、理解を深めてもらうことを目的として実施予定です。

また、地域の教育関係者や自然解説活動者が今後、防災教育プログラムを実施する際に、参考資料として活用できる事例集を作成する予定です。

4. 検討会（ワークショップ）について

本検討会（ワークショップ）では、子どもパークレンジャー事業で実施するプログラム内容や、参加者募集の広報方法について、皆様にご意見・ご助言をいただきたいと思っております。また、箱根地域での火山に関するプログラム事例や他地域での防災教育事例などについても情報提供を頂きたいと思っております。

なお、子どもパークレンジャー事業実施後に、第3回検討会として、結果報告会をおこない、来年度への課題などを検討する予定です。（参考資料3）

箱根地域での子どもパークレンジャー実績

日程	タイトル	参加人数	プログラム内容
26年 8月20日(水)	探検しよう！ 箱根ジオパーク	15名	自然観察（温湯周辺、植物、昆虫） ザリガニ釣り（外来種問題） 長尾峠からの景観（火山景観） マップ作り・発表
25年 8月22日(木)	箱根火山で実験！ 自然のふしぎ	12名	自然解説（大涌谷自然探勝路、植物、蝶、鳥） 実験（pH調べ） 落ち葉クラフト 新聞作り・発表
24年 8月21日(火)	箱根で発見！ 生きもののフシギ	14名	自然観察（ビジターセンター周辺、植物、昆虫、カヤネズミの巣） 生きもの紹介カード作り・発表
23年 8月11日(水)	突撃調査！箱根の自然の違いを探れ☆	14名	自然観察（大涌谷自然探勝路、植物、火山ガス噴煙地） 歩道紹介地図作り・発表
22年 8月6日(金)	箱根横断！ウルトラ 生きものクイズ	24名	自然観察（仙石原湿原、ビジターセンター周辺、植物、昆虫） ザリガニ釣り（外来種問題）
21年 8月6日(木)	箱根火山実験めぐり	24名	自然観察（大涌谷自然探勝路、動植物） 実験（pH、硫化水素）

平成26年8月20日（水）実施

環境省 HP 国立公園利用推進室子どもパークレンジャー 活動報告より

活動レポート

2014 2013

これ楽しかったなー！

仙石原湖尻自然探勝歩道の自然調査

実施期間 平成26年8月20日（水）

参加者数 15名

活動概要 箱根火山の地形やそのめくみを体感してもらうため、神奈川県唯一の温原である仙石原温原を中心とした解説および仙石原湖尻自然探勝歩道の自然調査を行った。
また、外来種の捕獲（ザリガニ釣り）を行うことで、身近にある外来種問題について知ってもらい、最後に一日の活動のまとめとして班ごとに協力しながら「おもしろマップ」を作成した。箱根地域の様々な自然とふれあい、驚きや発見を楽しむことを目的とした。






一般募集

平成25年8月22日（木）実施

活動レポート

2014 2013

これ楽しかったなー！

箱根火山で実験！自然のふしぎ

実施期間 平成25年8月22日（木）

参加者数 12名

活動概要 箱根ビンターセンターから大涌谷を歩いて自然を体感！大涌谷ではイオウの実験をするよ☆発見は「ふしぎ新聞」でまとめてみんなに伝えよう！






まずはネイチャーゲーム☆動物交差点で緊張をほぐそう！わからない子にはみんなでヒントを出してあげて無事に全員正解！

大涌谷へ出発！ふしぎな植物や虫、足あと、においなどなど、たくさんの発見をしたよ！自然発見カードにメモをしながら進もう！

大涌谷についたらふしぎなおいの正体を探る実験だ！大涌谷のにおいと黄色い土にはイオウが含まれていて、酸性だということがわかったよ☆

箱根ビンターセンターに戻って、班ごとにふしぎ新聞作り！ひとりひとりの記事をみんなで作ってレイアウトして、拾ったものでデコレーション☆

一般募集

平成27年度子どもパークレンジャー スケジュール

8月

本日 (31日)

第1回検討会 (ワークショップ)

9月

10月

9月下旬～10月中旬

第2回検討会 (ワークショップ)

11月

第1候補日 11月15日(日)・第2候補日 11月8日(日)

第1回 子どもパークレンジャー

12月

第1候補日 12月6日(日)・第2候補日 12月20日(日)

第2回 子どもパークレンジャー

1月

2月

1月中旬～2月上旬

3回検討会 (ワークショップ)

3月

事例集作成

箱根地域での火山学習、防災教育について

- 学校教育で行われている火山に関する学習とは
(学校教育でできないこととは)
- 箱根地域に必要な火山学習プログラム、防災教育プログラムとは
- 他地域での火山防災教育の事例
- 子どもたちが知っておくべき火山防災とは

プログラム案A.【子ども箱根ジオツアー「溶岩染め教室」～火山火山を学ぶ～】

■概要

神奈川県箱根町桃源台周辺で、「溶岩染め教室」を実施する。プログラムとして①箱根火山を学ぶ（火山防災）、②溶岩染め教室（火山噴出物の観察、火山の恵み）、③箱根ジオ新聞作り（まとめ）を行い、ジオ及び火山の恩恵とリスクを学ぶ。

★目的

- ・ 国立公園を理解し、箱根火山の噴火の特徴を知る。
- ・ 火山噴出物（噴石、軽石、火山灰等）を観察し、染液及び染め物を作成する。
- ・ 箱根の自然現象や災害をイメージでき、災害リーダーとしての子どもパークレンジャーを育む。

★効果

- ・ 噴火の自然現象がイメージでき、火山灰や噴石、土石流等に対して備える事ができる。
- ・ 火山噴出物の特徴を理解し、また資源として捉えることができる。
- ・ 国立公園、ジオパーク、大地の恵みとリスクについて情報発信ができる。

■行程

10:00 受付開始（箱根ビジターセンター玄関）

10:30 集合、挨拶

●子どもパークレンジャーについて

●アイスブレイク

・ 富士箱根伊豆の赤色立体地図（6m×4m）に乗って箱根の地形を観察

11:00 ①箱根火山を学ぶ（萬年先生 室内）

- ・ 箱根ジオパーク
- ・ 箱根火山の生い立ちについて解説
- ・ 現在の大涌谷の状況
- ・ 火山の恩恵とリスク

12:00 昼食休憩及びビジターセンター見学、箱根ジオパーク DVD 鑑賞

13:00 ②溶岩染め教室（ホールアース津田 室内）

- ・ 火山噴出物について
- ・ 双体顕微鏡での火山灰の観察
- ・ デザイン作成
- ・ 溶岩液作成、染め作業
- ・ 新聞紙に包んで持ち帰り

14:50 ふりかえり 過去の災害事例の紹介 質問受付

③箱根ジオ新聞作成

- ・ フレーム用紙に今日のとくダネ！記事を作成する。

15:40 発表

16:00 終了

プログラム案B.【子ども箱根ジオツアー「防災ジオロゲ」～箱根火山を学ぶ～】

■概要

神奈川県箱根町桃源台周辺で、子どもチーム（定員約20名）対抗で「防災ジオロゲ」を実施する。プログラムとして、①箱根火山を学ぶ、②防災ジオロゲ、③ふりかえりワークシート（まとめ）を行い、参加者は地図とコンパスを持ち、小学生目線で箱根ジオパークの地形、風景を中心とした自然を満喫しながら、チェックポイントを巡り、防災クイズに答えたり、チームビルディングゲーム、岩石観察&ハンマーで割る！などのジオな体験（規制があれば変更）を行い、約1時間半のジオロゲを楽しみながら、自然現象のイメージを共有し、ジオ及び火山の恩恵とリスクを学ぶ。

★目的

- ・ 国立公園を理解し、箱根火山の噴火の特徴を知る。
- ・ 地形図の見方、読み方を学び、プログラムにより実践する。
- ・ 箱根の自然現象や災害をイメージでき、災害リーダーとしての子どもパークレンジャーを育む。

★効果

- ・ 噴火の自然現象がイメージでき、火山灰や噴石、土石流等に対して備える事ができる。
- ・ 参加者同士のチームビルディングをはかることができ、地図力も高められる。
- ・ 国立公園、ジオパーク、大地の恵みとリスクについて情報発信ができる。

* 「ジオロゲ（ジオロゲイニング）」とは？

決められた時間内に、グループのメンバーが協力しながら、チェックポイントをまわり、得点を集めるスポーツのことで、いちばん多くの得点を集めたグループが優勝です。チェックポイントの場所は、地図とコンパス（方位磁針）を見て探します。

■行程

- 10：00 受付開始 （箱根ビジターセンター玄関）
- 10：30 集合、挨拶 ●子どもパークレンジャーについて ●アイスブレイク
- 11：00 ①箱根火山を学ぶ（萬年先生 室内）
- ・ 箱根ジオパーク ・ 箱根火山の生い立ちについて解説
 - ・ 現在の大涌谷の状況 ・ 火山の恩恵とリスク
- 12：00 昼食休憩及びビジターセンター見学、箱根ジオパーク DVD 鑑賞
- 12：40 ジオロゲルール説明、コンパス、地図配布、作戦会議
- 13：00 ②防災ジオロゲ スタート（グループごとにポイントへ）
- チェックポイント（防災クイズ：噴石や火山灰への対応等自然現象に対応するもの）
 - スタッフポイント（防災プログラム：【石の重さと硬さを体感～ハンマーで石割～】）
- 15：00 ゴール 結果発表。表彰（1～3位）。クイズの答え合わせ
- 15：20 ふりかえり 過去の災害事例の紹介 質問受付 ふりかえりワークシート作成
- 16：00 終了

プログラム案C.【子ども箱根ジオツアー「防災サバイバル教室」～箱根火山を学ぶ～】

■概要

神奈川県箱根町桃源台周辺で、「防災サバイバル教室」を実施する。プログラムとして、①箱根火山を学ぶ（事前防災）、②こども応急手当（事後防災）、③ロープワークとブルーシートで簡易テントづくり（事後防災）、④箱根ジオ新聞作り（まとめ）を行い、ジオ及び火山の恩恵とリスクを学ぶ。参加者は自然現象のイメージを共有し、その対処について体験学習を行う。

★目的

- ・ 国立公園を理解し、箱根火山の噴火の特徴を知る。
- ・ 災害時に困難な状況になった場合の野外技術を修得する。
- ・ 箱根の自然現象や災害をイメージでき、災害リーダーとしての子どもパークレンジャーを育む。

★効果

- ・ 噴火の自然現象がイメージでき、火山灰や噴石、土石流等に対して備える事ができる。
- ・ 非常時に応急手当やロープワークの野外技術を発揮できる。
- ・ 国立公園、ジオパーク、大地の恵みとリスクについて情報発信ができる。

■行程

- 10：00 受付開始 （箱根ビジターセンター玄関）
- 10：30 集合、挨拶 ●子どもパークレンジャーについて ●アイスブレイク
・ 富士箱根伊豆の赤色立体地図（6m×4m）に乗って箱根の地形を観察
- 11：00 ①箱根火山を学ぶ（萬年先生 室内）
・ 箱根ジオパーク ・ 箱根火山の生い立ちについて解説
・ 現在の大涌谷の状況 ・ 火山の恩恵とリスク
- 12：00 昼食休憩及びビジターセンター見学、箱根ジオパーク DVD 鑑賞
- 13：00 ②こども応急手当（ホールアース津田 室内及び一部室外）
・ 直接圧迫法について説明。 ・ 三角巾を配布し、実施。
・ 骨折した腕をつるやり方も実施。 ・ 参加者を4班に分け、搬送法を実施。
- 13：50 ③ロープワークとブルーシートで簡易テントづくり（芝生広場）
・ 「ちょうちょう結び」「ひきとき結び」「本結び」「巻き結び」を実施。
・ 外に出て、予め作成したブルーシートテントのポイントを説明し、
4班に分かれてそれぞれ実施。ブルーシート（3.2m×5.8m）、
はざ掛用杭2本、PPロープ長4本、短4本、ペグ8本配布。
- 14：50 ふりかえり 過去の災害事例の紹介 質問受付
④箱根ジオ新聞作成
・ フレーム用紙に今日のとくダネ！記事を作成する。
- 15：40 発表
- 16：00 終了

プログラム案D.【子ども箱根ジオツアー「災害図上訓練教室」～箱根火山を学ぶ～】

■概要

神奈川県箱根町桃源台周辺で、「災害図上訓練DIG (Disaster Imagination Game) 教室」を実施する。プログラムとして、①箱根火山を学ぶ（地形の成り立ち）、②災害図上訓練、④箱根ジオ新聞作り（まとめ）を行い、ジオ及び火山の恩恵とリスクを学ぶ。参加者はハザードマップから地域ごとのリスクを発見し、対応能力を高める。

★目的

- ・ 国立公園を理解し、箱根火山の噴火の特徴を知る。
- ・ ハザードマップ及び地形図の見方、読み方を学び、プログラムにより実践する。
- ・ 箱根の自然現象や災害をイメージでき、災害リーダーとしての子どもパークレンジャーを育てる。

★効果

- ・ 噴火の自然現象がイメージでき、火山灰や噴石、土石流等に対して備える事ができる。
- ・ 地域リスクが見える化し、発災前の被害の発生抑止につなげ、地域防災力を高める。
- ・ 国立公園、ジオパーク、大地の恵みとリスクについて情報発信ができる。

■行程

- 10：00 受付開始 （箱根ビジターセンター玄関）
- 10：30 集合、挨拶
- 子どもパークレンジャーについて
 - アイスブレイク
 - ・ 富士箱根伊豆の赤色立体地図（6m×4m）に乗って箱根の地形を観察
- 11：00 ①箱根火山を学ぶ（萬年先生 室内）
- ・ 箱根ジオパーク ・ 箱根火山の生い立ちについて解説
 - ・ 現在の大涌谷の状況 ・ 火山の恩恵とリスク
- 12：00 昼食休憩及びビジターセンター見学、箱根ジオパーク DVD 鑑賞
- 13：00 ②災害図上訓練（DIG）（ホールアース津田 室内）
- ・ 地図の読み方
 - ・ ハザードマップの見方。
 - ・ 噴火に伴う自然現象及び火山災害のイメージの共有
 - ・ 地域ごとにリスクの洗い出し。
- 14：50 ふりかえり 過去の災害事例の紹介
質問受付
- ④箱根ジオ新聞作成
- ・ フレーム用紙に今日のとくダネ！記事を作成する。
- 15：40 発表
- 16：00 終了

事業概要・参加者募集について（案）

■スキーム

- ・主催：環境省
- ・運営：NPO 法人ホールアース研究所
- ・協力依頼予定：箱根町、箱根町教育委員会、小田原市、小田原市教育委員会
箱根ジオパーク推進協議会

■対象

主に箱根周辺に在住の小学生（5年生以上）、※中学生も可とする。

■定員

20名

■日程（候補日）

- ・第1回：2015年11月15日（日） ※代替日：11月8日（日）
- ・第2回：2015年12月6日（日） ※代替日：12月20日（日）

■募集方法

- ・応募期間（各回開催2週間前程度を締め切り）を設けて、メールまたはFAXにて受付。
定員を超える応募があった場合は抽選とする。

■実施場所

箱根ビジターセンターおよび周辺

■参加者交通手段

現地集合とする。（公共交通機関または自家用車を利用してもらう）

■参加費

傷害保険料100円（死亡保険金500万円、入院保険金日額5,000円、通院保険金日額3,000円）

■持ち物

- ・動きやすい服装（長袖長ズボン）、帽子、履きなれた運動靴、リュック、タオル、防寒着、雨具（カッパ。傘は不可）、昼食と飲み物、レジャーシート（敷物）、筆記用具

■広報先（参考資料4 広報先一覧参照）

1. チラシの配布

- 1) 箱根町（全小中学校）、小田原市内（一部小中学校）の児童・生徒への配布
- 2) 箱根町、小田原市内の公民館・図書館での配布

2. 行政関係広報誌への掲載依頼：箱根町、小田原市

3. 関係機関への協力依頼

箱根ジオパーク推進協議会、神奈川県・県西地域県政総合センター、神奈川県生命の星・地球博物館、箱根ジオミュージアム

4. メディアへのリリース

新聞（神奈川新聞、朝日新聞、小田原記者クラブ）

平成26年度 広報先一覧	
<p>◎市町村広報誌 ※紙面に余裕があるときのみ掲載可</p> <p><u>静岡県</u> 御殿場市秘書広報課 御殿場市教育委員会社会教育課 裾野市いきいき広報室 三島市広報広聴課 函南町企画財政課 小山町企画調整課広報</p> <p><u>神奈川県</u> 湯河原町秘書広報室広報担当 南足柄市広報広聴課 二宮町総務部企画室広報統計班 大井町町民課 大磯町政策課 平塚市企画部広報・情報政策課 開成町町民サービス部自治活動応援課</p>	<p>◎ちらし・ポスター送付 <u>小学校</u> ※配付用ちらし 4～6年生 人数分 小田原市立三の丸小学校 小田原市立大窪小学校 箱根町立湯本小学校 箱根町立箱根の森小学校 箱根町立仙石原小学校 函嶺白百合学園小学校 箱根恵明学園</p> <p>◎ちらし配付 <u>神奈川県</u> ※配布用ちらし20～30部 箱根町教育委員会 湯河原町役場社会教育課 南足柄市生涯学習課 二宮町教育委員会生涯学習課 大井町役場生涯学習課 大磯町教育委員会 開成町教育委員会生涯学習課 松田町環境経済課 箱根ビジターセンター 箱根湿生花園 箱根ジオミュージアム 生命の星・地球博物館 神奈川県公園協会</p>
<p>◎新聞紙面 神奈川新聞「iバザール」県西総局 朝日新聞横浜総局マリオン係 小田原記者クラブ</p>	
<p>◎地域情報誌(タウンニュース等) 小田原 広報公聴室</p>	
<p>◎会報誌 (財)日本自然保護協会</p>	<p><u>静岡県</u> 裾野市生涯学習センター 三島市民生涯学習センター 三島市観光協会 函南町中央公民館 熱海市生涯学習課 小山町生涯学習課</p>
<p>◎インターネットホームページ 箱根ビジターセンター 環境省(富士箱根伊豆国立公園) 箱根ジオパーク推進協議会 PLANETかながわ AR日記</p>	

(参考) 平成27年度 広報先リスト(案)			
◎市町村広報誌		◎ちらし・ポスター送付	
※紙面に余裕があるときのみ掲載可		<u>小学校</u> ※配付用ちらしは5～6年生 人数分	
<u>神奈川県</u>		小田原市立三の丸小学校	
湯河原町秘書広報室広報担当		小田原市立大窪小学校	
南足柄市広報広聴課		箱根町立湯本小学校	
二宮町総務部企画室広報統計班		箱根町立箱根の森小学校	
大井町町民課		箱根町立仙石原小学校	
大磯町政策課		函嶺白百合学園小学校	
平塚市企画部広報・情報政策課		箱根恵明学園	
開成町町民サービス部自治活動応援課			
		<u>中学校</u> ※配付用ちらしは1～3年生 人数分	
◎新聞紙面		小田原市立城山中学校	
神奈川県新聞「iバザール」県西総局		小田原市立城南中学校	
朝日新聞横浜総局マリオン係		箱根町立箱根中学校	
小田原記者クラブ			
		◎ちらし配付	
		<u>神奈川県</u>	
		※配布用ちらし20～30部	
		箱根町教育委員会	
		箱根ビジターセンター	
		箱根湿生花園	
		箱根ジオミュージアム	
		生命の星・地球博物館	
		神奈川県公園協会	
◎地域情報誌(タウンニュース等)			
小田原 広報公聴室			
◎会報誌	(財)日本自然保護協会		
◎インターネットホームページ			チラシ最低必要 1547
箱根ビジターセンター			
環境省(富士箱根伊豆国立公園)			
箱根ジオパーク推進協議会			
PLANETかながわ			
AR日記			

平成27年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域

子どもパークレンジャープログラム第2回検討会（ワークショップ）

日時：平成27年11月15日（日） 15:40～

場所：箱根自然環境事務所

議事次第

1. あいさつ
2. 議事
 - (1) プログラムの検討（資料1）
 - (2) 広報の検討（資料2）
 - (3) その他

第2回検討会
資料

平成27年度 富士箱根伊豆国立公園箱根地域 子どもパークレンジャープログラム第2回検討会 出席者名簿			
【検討員】		※五十音順	
所属	役職名	氏名	出欠
神奈川県公園協会	自然公園担当課長	青木 雄司氏	欠席
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏	出席
箱根町教育委員会学校教育課	指導主事	浅川 能之氏	欠席
箱根町教育委員会	教育次長 兼 生涯学習課長	大和田 公一氏	欠席
自然公園財団 箱根支部	主任	須田 淳氏	出席
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏(斎藤氏代理出席)	出席
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年 一剛氏	出席
箱根ジオミュージアム	学芸員	山口 珠美氏	欠席
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏	出席
【事務局】			
環境省 箱根自然環境事務所	所長	高橋 啓介	欠席
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官	木暮 朋子	出席
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官補佐	後藤 香菜	出席
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介	出席
NPO法人ホールアース研究所	専門職員	津田 和英	出席

環境省子どもパークレンジャー事業

箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～

日時・集合：2015年11月15日（日）10:15 箱根ビジターセンター（受付 9:45～）

参加者：3名予定：小5：2名、中1：1名（3名キャンセル）

環境省スタッフ：木暮氏、後藤氏

ホールアーススタッフ：大武氏、津田氏

検討委員スタッフ：萬年氏、吉田氏、青山氏、須田氏、斎藤氏

*表中、敬称略。

★オリエンテーション

時間	内容	詳細、役割	備考
9:15	萬年ビッパップ スタッフ集合打ち合わせ @ビジターセンター	8時小田原駅西口 進行、分担確認、天候判断 準備	環境省、ホールアース カメラ：大武中心に 誘導（津田）
9:45	随時受け付け	受付開始 申込書記入、名札書き 参加者集合（5名予定）	受付①（大武：集金、申込書） 受付②（後藤：配布物） 全体（津田）：名札
10:15	オリエンテーション	①挨拶（木暮） ②運営、諸注意（津田） スタッフ紹介 ③レジャーとは？（国立公園） ⇒JPR手帳配布 名前記入 ④参加者自己紹介 ⑤アイズレク 布の地図を広げて、箱根を 確認。 箱根ジオパークについて	進行：津田、 挨拶：木暮 スタッフ紹介（全員） アイズレク（ホールアース） サブ教材：プレート模型 ビジターセンタージオラマ 箱根火山を知ろう！

プログラム (PG) 運営

時間	内容	詳細、役割	備考
10:45	プログラム わかりやす～い火山 のおはなし	津田がシアタールームに誘導 津田が司会 質疑応答	神奈川県温泉地学研究所 萬年
11:30	昼食	雨の場合はビジターセンター内で 昼食後は館内見学	大武：地図片付け 晴れの場合：津田と斎藤 MTG
12:10	ビジターセンター外集合 出発 自然探勝路 金太郎岩 展望台	ビンゴ表配布 諸注意（危険生物） ①コーラ実験 →火砕流と軽石の説明 ②レンジャー	雨の場合：溶岩染め教室（～ 14:30） @ビジターセンター 津田、木暮、後藤、斎藤、 吉田他

第2回検討会
資料1

	姥子駅(トイレ) 船見岩	③葉っぱジャック ④富士山 ⑤ブーさん ⑥金太郎岩 ⑦野生動物 ⑧噴気のお話し ⑨お気に入り	大武&萬年は車で船見岩へ ⇒13:45合流
14:00	船見岩出発	ロープウェイ沿いに下山	
	ビジターセンター到着	トイレ休憩	
14:30	噴火実験	津田 ①噴火すると何が起ころ? ②噴石実験 part1 観察して傾向を考える ③噴石実験 part2 ブロックの家や人を置く *どんな行動をとる? ⇒対策を考える。	晴れ:屋外、雨:屋内 ホワイトボード 参加者ヘルメット 扇風機 空気ボンベは17回ぐらい 日本火山学会資料配布
15:00	ふりかえり @ビジターセンター内 ワークシート記入 個人で発表	津田 ワークシート(ベスト3) ・楽しかったこと ・学んだこと ふりかえり、事務連絡 津田より終了挨拶 解散	JPRとしての行動
15:30	終了		多様性センターのカード (シール配布)
15:40	第2回検討委員会		
16:40	終了	箱根自然環境事務所	

◆注意事項

- ・自然を守る
- ・セルフエイド
- ・危険生物
- ・ビジターセンター内のマナー

◆参加者持ち物

- ・リュックサック、昼食・飲み物、帽子、運動靴、動きやすい服装、防寒着、筆記用具、レインウェア、保険証コピー

環境省子どもパークレンジャー事業

箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～（雨編）

日時・集合：2015年11月15日（日）10:15 箱根ビジターセンター（受付9:45～）

参加者：3名予定：小5：2名、中1：1名（3名キャンセル）

環境省スタッフ：木暮氏、後藤氏

ホールアーススタッフ：大武氏、津田氏

検討委員スタッフ：萬年氏、吉田氏、青山氏、須田氏、斎藤氏

*表中、敬称略

★オリエンテーション

時間	内容	詳細、役割	備考
9:15	萬年ビッパップ スタッフ集合打ち合わせ @ビジターセンター	8時小田原駅西口 進行、分担確認、天候判断 準備	環境省、ホールアース カメラ：大武中心に 誘導（津田）
9:45	随時受け付け	受付開始 申込書記入、名札書き 参加者集合（5名予定）	受付①（大武：集金、申込書） 受付②（後藤：配布物） 全体（津田）：名札
10:15	オリエンテーション	①挨拶（木暮） ②運営、諸注意（津田） スタッフ紹介 ③リジャーとは？（国立公園） ⇒JPR手帳配布 名前記入 ④参加者自己紹介 ⑤アイブレイク 布の地図を広げて、箱根を 確認。 箱根ジオパークについて	進行：津田、 挨拶：木暮 スタッフ紹介（全員） アイブレイク（ホールアース） サブ教材：プレート模型 ビジターセンタージオラマ 箱根火山を知ろう！

プログラム（PG）運営

時間	内容	詳細、役割	備考
10:45	プログラム わかりやす～い火山 のおはなし	津田がシアタールームに誘導 津田が司会 質疑応答	神奈川県温泉地学研究所 萬年
11:30	昼食	雨の場合はビジターセンター内で 昼食後は館内見学	大武：地図片付け 特別室の机のみで飲食の許可 済
12:10	ビジターセンター内集合 @シアター @特別室 机2、椅子5	溶岩染め教室 ①ワークシートによる説明 ②溶岩とは？ ③デザインかき ④溶岩染め	津田、大武

第2回検討会
資料1

		⑤ 梱包 トイレ休憩	
14:30	噴火実験	津田 ① 噴火すると何が起こる？ ② 噴石実験 part1 観察して傾向を考える ③ 噴石実験 part2 ブロックの家や人を置く * どんな行動をとる？ ⇒ 対策を考える。	晴れ：屋外、雨：屋内 ホワイトボード 参加者ヘルメット 扇風機 空気ポンベは17回ぐらい 日本火山学会資料配布
15:00	ふりかえり @ビジターセンター内 ワークシート記入 個人で発表	津田 ワークシート（ベスト3） ・ 楽しかったこと ・ 学んだこと ふりかえり、事務連絡 津田より終了挨拶 解散	JPR としての行動 多様性センターのカード（シール配布）
15:30	終了		
15:40	第2回検討委員会		
16:40	終了	箱根自然環境事務所	

◆ 注意事項

- ・ 自然を守る ・ セルフエイド ・ 危険生物 ・ ビジターセンター内のマナー

◆ 参加者持ち物

- ・ リュックサック、昼食・飲み物、帽子、運動靴、動きやすい服装、防寒着、筆記用具、レインウェア、保険証コピー

～平成27年度 環境省子どもパークレンジャー事業～

「箱根で大ぼうけん！～火山のナゾを探れ～」の開催

環境省「子どもパークレンジャー」とは小中学生を対象に、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、生きものに対する思いやりの心など、豊かな人間性を育むことを目的としております。環境省レンジャー（自然保護官）と一緒に自然観察や自然環境学習などのプログラムを体験しましょう。

1. 日時：①平成27年11月15日（日）午前9時45分～午後3時30分
または
②平成27年12月6日（日）午前9時45分～午後3時30分
※①②は同じ内容のものです。ご希望の日程をお選び頂きます。
※雨天決行。雨天の場合は午後の野外プログラムを室内へ変更いたします。
2. 行事名：「箱根で大ぼうけん！～火山のナゾを探れ～」
3. 内容：火山学者からの火山の話・レンジャーの話を聞いたり、姥子駅まで自然観察をしながら宝探しビンゴゲームを行います。
4. 野外プログラムコース：箱根ビジターセンター～姥子駅～箱根ビジターセンター
※大涌谷及び噴火規制区域には入りません。
[距離約2.6km 所要時間2時間]
5. 募集定員：各日程20名
※ 定員を超えた場合は抽選により参加の可否をご連絡します。
6. 応募締め切り：①11月8日（日）必着
②11月29日（日）必着
7. 集合：箱根ビジターセンター 午前9時45分
解散：箱根ビジターセンター 午後3時30分

8. 費用：保険代 100 円
9. 持ち物：リュック（両手が自由になるもの）、昼食、飲み物、帽子、運動靴、動きやすい服装、防寒着、筆記具、レインウェア（傘は不可）保険証（コピー可）
10. 主催：環境省 箱根自然環境事務所
〔 運営：NPO 法人ホールアース研究所 〕
〔 後援：箱根ジオパーク推進協議会 〕
11. 応募方法・問い合わせ先：
行事名、参加希望日・参加希望者全員の住所・氏名（ふりがな）・学校名、学年・性別・電話番号、緊急連絡先・事前に伝えておきたいことを記載し、電話、FAX またはメールで下記まで
〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野 165 NPO 法人ホールアース研究所
【電話】 0544-66-0790 【FAX】 0544-67-0567 【メール】 info@wens.gr.jp

平成27年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域

子どもパークレンジャープログラム第3回検討会（ワークショップ）

日時：平成28年2月3日（水） 13:30～
場所：箱根町役場本庁舎 4階 第1会議室

議事次第

1. あいさつ

2. 議事

(1) 子どもパークレンジャープログラムの報告（資料1）

今後に向けての意見交換

(2) 防災教育プログラム集作成についての意見交換（資料2）

(3) その他

第3回検討会
資料

平成27年度 富士箱根伊豆国立公園箱根地域 子どもパークレンジャープログラム第3回検討会 出席者名簿			
【検討員】		※五十音順	
所属	役職名	氏名	出欠
神奈川県公園協会	自然公園担当課長	青木 雄司氏	欠席
箱根町企画課ジオパーク推進室	主事	青山 朋史氏(片野氏代理出席)	出席
箱根町教育委員会生涯学習課	指導専任教諭	石井 ちかり氏	出席
箱根町教育委員会生涯学習課	主事	竹村 洋一氏	出席
自然公園財団 箱根支部	主任	加藤 和紀氏	出席
箱根パークボランティア	事務局	原田 育生氏	出席
神奈川県温泉地学研究所	主任研究員	萬年一剛氏	出席
箱根ジオミュージアム	学芸員	山口 珠美氏	出席
神奈川県自然環境保全センター 箱根出張所	主査	吉田 直哉氏	出席
【事務局】			
環境省 箱根自然環境事務所	所長	高橋 啓介	欠席
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官	木暮 朋子	出席
環境省 箱根自然環境事務所	自然保護官補佐	後藤 香菜	出席
NPO法人ホールアース研究所	理事	大武 圭介	出席
NPO法人ホールアース研究所	専門職員	津田 和英	出席

環境省子どもパークレンジャー事業

箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～

日時・集合：2015年12月6日（日）10:15 箱根ビジターセンター（受付 9:45～）

参加者：8名

環境省スタッフ：木暮氏、吉田氏

ホールアーススタッフ：大武氏、津田氏

検討委員スタッフ：萬年氏、山口氏、箱根町役場栢沼氏

★オリエンテーション

時間	内容	詳細、役割	備考
9:15	萬年ビッパップ スタッフ集合打ち合わせ @ビジターセンター	8時小田原駅西口 進行、分担確認、天候判断 準備	環境省、ホールアース カメラ：大武中心に
9:45	随時受け付け @多目的ルーム	受付開始 申込書記入、名札書き 参加者集合	誘導（津田） 受付①（大武：集金、申込書） 受付②（吉田：配布物） 全体（津田）：名札
10:15	オリエンテーション	①挨拶（木暮） ②運営、諸注意（津田） スタッフ紹介 ③参加者自己紹介 ④アイスレク 手合わせゲーム。 ⑤国立公園について ⇒筆記用具 JPR 手帳持参 展示前で。	進行：津田、 挨拶：木暮 スタッフ紹介（全員） アイスレク（ホールアース） サブ教材： ビジターセンタージオラマ 箱根火山を知ろう！

プログラム (PG) 運営

時間	内容	詳細、役割	備考
10:45	プログラム わかりやす～い火山 のおはなし	津田がシアタールームに誘導 津田が司会 質疑応答	神奈川県温泉地学研究所 萬年
11:20	アリーナへ出発		
11:30	アリーナ広場到着	噴気の話（萬年）	
11:45	昼食	レクアリーナ広場またはアリーナ内レク	津田とボランティア （原田 or 斎藤）打ち合わせ 萬年送り（大武）
12:15	アリーナ広場集合 出発 自然探勝路 金太郎岩	ビンゴ表配布 諸注意（危険生物） ①コーラ実験 →火砕流と軽石の説明 ②プーさん ③富士山 ④野生動物 ⑤金太郎岩	津田、木暮、吉田、ボランテ ィア、山口

第3回検討会
資料1

		⑥いざや ⑦葉っぱジャンク ⑧お気に入り	
13:50	ビジターセンター到着	トイレ休憩	
14:00	噴火実験 @ビジターセンター外	津田、山口 ①噴火すると何が起こる？ ②噴石実験 part1 観察して傾向を考える ③噴石実験 part2 ブロックの家や人を置く *どんな行動をとる？ ⇒対策を考える。	ホワイトボード 参加者ヘルメット (うちわで風) 空気ポンペは17回ぐらい 日本火山学会資料配布
14:30	ふりかえり @ビジターセンター内	津田	
15:00	ワークシート記入 個人で発表	ワークシート(ベスト3) ・楽しかったこと ・学んだこと ふりかえり、事務連絡 津田より終了挨拶	JPRとしての行動
15:30	終了 片付け スタッフ反省会	解散	多様性センターのカード(シール配布)

◆注意事項

- ・自然を守る
- ・セルフエイド
- ・危険生物
- ・ビジターセンター内のマナー

◆参加者持ち物

- ・リュックサック、昼食・飲み物、帽子、運動靴、動きやすい服装、防寒着、筆記用具、レインウェア、保険証コピー

【箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～ 1回目】

- ◆実施日時：2015年11月15日（日） 9：45～15：30
- ◆実施場所：箱根ビジターセンター及び姥子駅周辺
- ◆対象学年：小学5年生～中学3年生
- ◆参加者数：3名（小5：1名、中1：2名）
- ◆実施者：萬年一剛主任研究員（神奈川県温泉地学研究所）
木暮朋子自然保護官（環境省箱根自然環境事務所）
齋藤幸蔵氏（箱根パークボランティア）
津田和英氏（ホールアース研究所）
- ◆実施内容：①オリエンテーション（津田氏、木暮氏実施）
②火山講義（萬年氏実施）
③自然宝探しビンゴゲーム（津田氏、萬年氏、木暮氏、齋藤氏実施）
④噴火実験（津田氏実施）
⑤ふりかえり（津田氏実施）
- ◆当日の様子：



【箱根で大ぼうけん！ ～火山のナゾを探れ～ 2回目】

- ◆実施日：2015年12月6日（日） 9：45～15：30
- ◆実施場所：箱根ビジターセンター及び箱根町アリーナ周辺
- ◆対象学年：小学5年生～中学3年生
- ◆参加者数：8名（小5：1名、小6：4名、中1：1名、中2：2名）
- ◆実施者：萬年一剛主任研究員（神奈川県温泉地学研究所）
山口珠美学芸員（箱根ジオミュージアム）
木暮朋子自然保護官（環境省箱根自然環境事務所）
石原和美氏（箱根パークボランティア）
津田和英氏（ホールアース研究所）
- ◆実施内容：①オリエンテーション（津田氏、木暮氏実施）
②火山講義（萬年氏実施）
③自然宝探しビンゴゲーム（津田氏、萬年氏、木暮氏、石原氏実施）
④噴火実験（津田氏、山口氏実施）
⑤ふりかえり（津田氏実施）
- ◆当日の様子：



自然宝探しビンゴゲームワークシート

ほこね  たからさが

箱根の宝探し

日付: _____

なまえ: _____

<p>レンジャーって?</p> 	<p>噴気のお話し</p> 	<p>じっけん</p> 
<p>フーさんの形をした山</p> 	<p>きょうのピカいち! (わたしのあまにいい)</p> 	<p>富士山が見える!?</p> 
<p>葉っぱ じゃんけん大会</p> 	<p>金太郎岩</p> 	<p>野生動物のサイン</p> 

気づいたこと! 大事なな^なと思うこと!

- ・
- ・
- ・

お宝はいくつゲット?

/ 9 たから

自然宝探しビンゴゲームワークシート

箱根で大ぼうけん!
ふりかえりシート

楽しかったことベスト3

1位：
2位：
3位：
その理由は？

学んだことベスト3

1位：
2位：
3位：
その理由は？

名前： _____

平成27年度 環境省子どもパークレンジャー事業

箱根で大ぼうけん！～火山のたもを探れ～

参加申込書

- ① 野外での活動は常に危険が伴います。主催者および指導者は、安全の確保をすべてに優先しますが受講者も「セルフエイド＝自分の身は自分で守る」をモットーとして行動します。
- ※受託者では、年間包括の傷害保険に加盟しています。万一、事故が起きた時には当該保険の範囲での保証となりますのでご了承ください。
- ② 参加中の発病や本人の不注意によって生じた事故については、主催者および指導者の責任を問いません。
- ③ 参加に心配な持病や治療中の傷病があれば参加を控えます。

以上の項目に同意した上、申し込みます

日付	2015年 月 日		
フリガナ	生年月日		性別
氏名	年 月 日	男・女	
フリガナ			
住所	〒		
電話	() -	携帯電話	() -
緊急連絡先	電話番号 () -	氏名・本人との続柄	()

保護者（参加者が未成年の場合）

氏名 _____ 続柄 _____

住所（上記と異なる場合のみ）

写真の撮影について（必ずお読みください）

プログラム中撮影した写真は、受託者が責任を持って管理し、事業報告及び関連する目的以外に使用することはありません。

個人情報の取り扱いについて

- (1) 皆様の個人情報は、外部への漏洩がないように厳重に管理されています。
- (2) 個人情報は事業を安全かつ円滑に行うためにのみ使用し、第三者に提供することはありません。

運営（事業請負団体）：NPO 法人ホールアース研究所

子どもパークレンジャー

箱根で大ぼうけん！～火山のナゾを探れ～ アンケート

本日はご参加いただきありがとうございます。大変お手数ですが、ご協力お願い致します。

住所：_____市・町・村 学年：_____年 性別：男・女

子ども1 プログラムに参加して、自然に対して感じたことをすべて選んでね

自然はきれいだ 自然はすごい 自然は気持ちがいい 自然は怖い 自然が壊されている 自然は守らなくてはいけない 自然にふれあいたい 自然を守る活動がしたい

(保護者の方から見て) 上記のうち、お子さんが強調していたことは何ですか？

{ }

子ども2 プログラムに参加して、上記以外に感じたことをすべて選んでね

疲れた 気持ちよかった 感動した まだ活動したりない もっと難しいものにチャレンジしたい また来たい スタッフにまた会いたい 新しい友達ができたい スタッフみたいになりたいと思った この経験を友達に話したい 今度は友達と一緒に来たい もう行きたくない 勉強になった 難しかった 特にない わからない

(保護者の方から見て) 上記のうち、お子さんが強調していたことは何ですか？

{ }

大人1 このイベントを何で知りましたか？該当するすべての項目に○をつけてください。

チラシ ホームページ 市町広報 メルマガ 友人 facebook 新聞
その他 ()

大人2 今回申し込んだ理由をおしえてください。何を期待して参加しましたか？

{ }

大人3 参加費は子ども1人あたりどれくらいの料金なら参加させたいですか？

無料 ～100円(保険代) ～500円 ～1,000円 それ以上でも

大人4 次回はどのようなイベントに興味がありますか？(複数選択可)

火山についての実験 火山野外ツアー 自然生き物探し クイズラリー ネイチャークラフト
防災プログラム その他 { }

参加形態は？ お子様のみで参加 親子で参加したい

大人5 全体を通してご意見・ご要望・スタッフへのメッセージ等お聞かせください。

{ }

11月15日プログラム参加者ふりかえりシート				◆学んだことベスト3			
1回目参加者	男子 小5	男子 小5	男子 中1	1回目参加者	男子 小5	男子 小6	男子 中1
2位	宝探しラリー 実験	コーラの実験 萬年先生の話	噴火の実験 箱根の宝探し	2位	萬年先生の火山の話 実験	噴石の飛び方 身を守る方法	火山噴火とは レンジャーについて
3位	富士山ゲーム	箱根の宝探し	萬年先生の話	3位	宝探しラリー	火山の仕組み	箱根について
理由	金太郎岩やナーさんの形をした山など色々なものが見れたから。	ジュワ〜とでるコーラの泡が楽しかった。	噴石の飛び方や安全なところ、その時どう対処すればいいかなどを楽しくわかりやすく実験で知ることができたから。	理由	火山の水蒸気爆發のこやどローンの映像を見せてもらえたから。	噴石が飛んでどくらんに飛ぶかが分かってよかった。	萬年先生のお話が面白いも入って、発見もたくさんあったから。

12月6日プログラム参加者ふりかえりシート

◆学んだことベスト3			
2回目参加者	男子 小5	女子 小6	女子 小6
1位	コーラの実験	金太郎岩 火山実験	コーラの実験 葉っぱジャンケン
2位	葉っぱジャンケン	火山実験	葉っぱジャンケン 富士山ゲーム
3位	金太郎岩	葉っぱジャンケン	富士山ゲーム
理由	あまりコーラを振ったことかなかったし、爆発した時が楽しかった。	行くまでの道でいろいろな植物があつて楽しかった。	身近なコーラで火山の仕事みを説明していたから分かりやすかったし、コーラを振るのも楽しかった。
理由			友達か公園でメトス4個人入れてひしひしおよびなつていて、自分もやってみたいと思つていたので、今回できて良かったです。テレビではもっと大きいのでやっていたので、そつちもやってみたくて、コーラで火山の仕事みがかかわるのがすごく
理由			コーラやソーエ、マコネーの実験や火山の噴火実験などがとてもよく再現されていてよいと思つたから。
理由			実際に溶岩に触れたり見たりする事ができたから。前にも見たことがあつたが今回は色々勉強した後だったから。
理由			コーラを振ることが自分でき、気持ち良かったから。結果はわかつていたが、それが噴火と似たような減少と気付き、新たな発見となつた。

◆学んだことベスト3			
2回目参加者	男子 小5	女子 小6	女子 小6
1位	噴火のお話し	噴火のお話し 金太郎岩	噴火のお話し 木の葉の話
2位	伊豆半島が離れていた 実験	レンジャーについて	野生動物のサイン 噴火の規模について
3位	実験	レンジャーについて	野生動物のサイン 噴火の規模について
理由	いつ噴火して、いろいろな物がどれくらい飛んでくるのが分かりやすかつたし、ガスがでていることについて知つた。	大涌谷はガスが出ているだけだから噴火じやないと思つていいた。噴火という事がわかつた。	火山の噴火の種類や規模がすごく大きかつたり、小さかつたり、いろいろなことを知れたから。
理由			隠れたり逃げたりする方法や場所は、知らないとき実際に噴火があつた時に行動できないと感じたら
理由			自分はずつちかに走つてしまふことが多いから、歩いて自然に触れることができてよかつた。
理由			自分か知らないことをしることができたし、火山噴火のこともわかつたから。
理由			中学校で学んだばかりだが、少しあやふやだったから。
理由			学校で習つたのは自分の復習になつて、知らないことは新たな発見になりました。

平成27年度JPRプログラムアンケート(1・2回目合計)

子どもアンケート回答人数8名

◆子ども1 プログラムに参加して自然に対して感じたこと(複数可)

項目	回答数	%
<input type="checkbox"/> 自然はきれいだ	8	100
<input type="checkbox"/> 自然はすごい	7	88
<input type="checkbox"/> 自然は守らなくてはいけない	6	75
<input type="checkbox"/> 自然は気持ちがいい	6	75
<input type="checkbox"/> 自然にふれあいたい	6	75
<input type="checkbox"/> 自然が壊されている	5	63
<input type="checkbox"/> 自然を守る活動がしたい	4	50
<input type="checkbox"/> 自然は怖い	2	25

◆子ども2 プログラムに参加して上記以外に感じたこと(複数可)

項目	回答数	%
<input type="checkbox"/> 気持ちよかった	7	88
<input type="checkbox"/> また来たい	7	88
<input type="checkbox"/> 勉強になった	7	88
<input type="checkbox"/> もっと難しいものにチャレンジしたい	5	63
<input type="checkbox"/> この経験を友達に話したい	4	50
<input type="checkbox"/> 感動した	3	38
<input type="checkbox"/> まだ活動したりない	3	38
<input type="checkbox"/> スタッフにまた会いたい	3	38
<input type="checkbox"/> 今度は友だちと一緒に来たい	3	38
<input type="checkbox"/> 疲れた	2	25
<input type="checkbox"/> スタッフみたいになりたいと思った	2	25
<input type="checkbox"/> 難しかった	2	25
<input type="checkbox"/> 新しい友達ができた	1	13
<input type="checkbox"/> もう行きたくない	0	0
<input type="checkbox"/> 特にない	0	0
<input type="checkbox"/> わからない	0	0

保護者アンケート: 回答人数2名

◆大人1 このイベントを何で知りましたか？

- ・ホールアースのイベント
- ・HP(環境省、箱根ジオパーク、ホールアースのいずれかより)

◆大人2 申込の理由。

- ・火山について子どもと一緒に詳しく学びたかった。
- ・自然好きなので楽しみにしていました。

◆大人3 参加費について。

- ・1,000円程度。
- ・1,000円程度。

◆大人4 興味あるイベントは？選択解答

- ・火山についての実験、火山野外ツアー、クイズラリー
- ・火山についての実験、火山野外ツアー、クイズラリー、自然生き物探し、ネイチャークラフト、防災プログラム。

◆大人5 ご意見。

- ・地学を多く子どもに学ばせたいので、今後の企画に期待しています。中学生が学べるものをぜひお願いします。
- ・盛り沢山で楽しかったです。

【プログラムの課題について】

◆評価できる点

1) プログラム内容について

- ・「火山」をテーマにし、「防災」という視点でもプログラムに盛り込むことができた。
- ・プログラムが盛り沢山であったが、いろいろと試してみるという点ではよかった。
- ・天気が不安定であったが、屋外プログラムが実施できて、参加者に好評だった。
- ・実験が素晴らしく、大人でも楽しめた。

2) 運営体制・施設

- ・プログラムには多くの講師陣に入っただき、それぞれの多様なパートが箱根火山の中でつながっているという展開ができた。

3) 募集・広報

- ・火山という企画は一般的に尖っているテーマなのか、集客に結びつかなかったが、参加した子どもは火山に対しての興味関心が高く、熱心で呑み込みがとても早かった。講師への質疑も活発で、少人数での展開が良いものとなった。
- ・学校教育課に協力していただき、箱根町及び小田原市箱根よりの学校に対して、対象全児童及び全生徒にチラシを配布することができた。また箱根ジオパークのHPに掲載していただき、横浜市や座間市からの参加があった。

◆課題点

1) プログラムの内容について

- ・プログラムや資料が多く、参加者が講義のメモもとっていたので、帰ってからまとめやすいようにワークシートのようなものを用意してもよい。
- ・1回目は時間がタイトであった。2回目は大涌谷の噴気を見る場所を姥子駅船見岩から箱根町アリーナに変更し、人数が増えた分のふりかえり時間を確保できた。
- ・大涌谷の噴気について1回目は天気が悪く、船見岩から見ることができなかった。2回目の箱根アリーナからは確認はできたが、やや距離感があった。

2) 運営体制・施設

- ・1回目は午前中の雨で石畳が濡れており、徒歩での下山の際の怪我を回避するリスクマネージメントの観点から帰りは車でピストン輸送にした。押していたプログラム時間の短縮にもつながった。
- ・寒さや悪天候の際を想定して、雨天会場や昼食会場を確保する。ビジターセンターでは来館者の迷惑にならないように調整していただいた。
- ・今回のプログラム内容で20名満員であったら、時間内にはおさまらないと感じる。

3) 募集・広報

- ・箱根町中心に小中学校へチラシを郵送したが、効果的な集客にはつながらなかった。広報期間の改善やプログラム実施時期、内容、交通（移動）手段、地域との連携・ニーズの把握に課題がある。
- ・「箱根で大ぼうけん」というタイトルを見て、内容がボケてしまったのではと思う。もっと火山を前面に出してはどうか。

4) 実施時期

- ・過去の JPR のプログラムは夏に実施しており、夏休みの方が集客につながる可能性が高いと感じる。

防災教育プログラム集作成に向けて（案）

【プログラム集概要】

地域の教員やパークボランティアが箱根地域において防災教育プログラムを実施するための参考資料とすることを目的として、以下①～⑤についてまとめたプログラム集を作成する。プログラム集をワークショップ参加者（検討委員）に送付する。

- ①過去に箱根地域で実施した子どもパークレンジャー事業及び、今年度箱根地域で実施を予定している自然環境教育プログラムについて日時・講師・プログラム概要・参加者情報等について一覧表にまとめる。
- ②全国の国立公園で、環境省が実施している防災教育プログラム
- ③平成27年度箱根地域子どもパークレンジャー事業で実施したプログラムの詳細内容、実施結果
- ④箱根地域において自然教育プログラム・防災教育プログラムを実施する上での留意事項
- ⑤火山防災教育プログラムについての国内の動向

■プログラム集の容量

- ・A4 サイズ 50 ページ程度
- ・1 プログラムあたり A4、2 ページを予定

【教育プログラム案（大テーマ：遊ぶ、知る、体験する、作る、実験する、利用する）】

A.遊ぶ

- 1) 石コロリンピック
- 2) 流れ山はどこから来たの？

B.知る

- 3) 防災サバイバル教室（ホールアース自然学校）
- 4) 自然の宝探しビンゴゲーム

C.体験する

- 5) ハンマーで割って石を見てみよう！
- 6) 地図を使ってジオロゲ

D.つくる

- 7) 段ボールでジオラマ防災授業（防災ジオラマ推進ネットワーク）
- 8) スコリアケーキをつくろう

E.実験する

- 9) コーラの噴火実験（秋田大学 林信太郎教授）
- 10) 噴火から身を守ろう！（日本火山学会 林信太郎教授）

F.利用する

- 11) 溶岩染め教室（ホールアース自然学校）
 - *箱根地域で今年度実施：2, 4, 5, 6, 9, 10
 - *箱根地域で昨年度実施：8, 11

例) ■プログラム名：実験する 10)「噴火から身を守ろう！」

■ねらい

突然噴火に出会った場合、とるべき2つの行動（「隠れる」または「逃げる」）のどちらをとるか判断するため、シオラマによる噴石実験で噴火の傾向と対策を考えます。

■実施条件

- ・対象：小学5年生から大人まで
- ・人数：1グループ 5～10人程度
- ・場所：制限はない
- ・所要時間：30分～45分

■準備する道具

- ・噴石実験装置
- ・空気入れ
- ・紙粘土による噴石
- ・レゴブロックによる建物と人（代用可）
- ・ヘルメット
- ・NPO 法人日本火山学会主催第22回公開講座「噴火から身を守ろう！」テキストまたはNPO 法人日本火山学会編集「安全に火山を楽しむために」
http://www.kazan.or.jp/J/doc/kazan_anzen_high_q.pdf

■進行上のPoint

- ・実験が遊びのみになってしまわない様に、視覚的な資料により噴火のイメージを共有しながらすすめていく。
- ・室内であれば扇風機を用いて、風上と風下をつくりだしてもよい。

■PGの流れ

①グループ分け（5分）：1グループが5～10人程度の小グループになるよう分かれてもらう。

②オリエンテーション（10分）：火山が噴火したら、どんな現象が起こるのか噴火の種類について挙げてもらう。

噴火の種類の説明をした後、噴石実験の装置を紹介。噴石がどの様にどこまで飛ぶかグループごとに予想してもらう。

③実験開始（15分）：噴石実験装置に模擬の建物や登山者を置いてもらう。タイヤチューブ抑え役と空気入れ役を決めて、チューブを破裂させない程度膨らまし、カウントダウンとともに抑え役が空気弁を外す。噴石が飛び散るのでその傾向を実験する。

④終了（10分）：グループごとに結果を考察してもらい、感想を発表してもらう。過去の噴火災害を紹介し、水蒸気噴火の特徴を考え、持ち物等の事前準備の対策や、冷静に状況を捉えて行動できるイメージを学ぶ。

平成 27 年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域
子どもパークレンジャー業務報告書
平成 28 年 3 月

業務発注者：環境省関東地方環境事務所
〒330-6018 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
明治安田生命さいたま新都心ビル 18F
電話：048-600-0816

受託者：特定非営利活動法人ホールアース研究所
担当者：津田和英
住 所：静岡県富士宮市下柚野 165
連絡先：0544-66-0790

リサイクル適性の表示：紙へリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作成しています。